# 旭ヶ丘キリストの教会
## 主日礼拝順序
２０２２年１１月２７日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

| | | |
|---|---|---|
| 黙　　祷 | | 一　同 |
| 讃　　美※ | Ⅱ讃美歌191「主のまことは」 | 一　同 |
| 主の祈り※ | （聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください） | |
| 讃　　美 | 讃美歌260B「千歳の岩よ」 | 一　同 |
| 教会学校 | 絵本「教会のはじまり」 | 牧　師 |
| 讃　　美 | 讃美歌301「「山辺に向かいて我」 | 一　同 |
| 聖書朗読 | 使徒1:1-2 | |
| 奨　　励 | 使徒行伝の福音(第1回) | 牧　師 |
| 主　　題 | **「神愛なる貴方への手紙」** | |
| 讃　　美 | 讃美歌494「わが行く道」 | 一　同 |
| 献　　金 | 献金と感謝の祈り | |
| 聖　　餐 | | |
| 頌　　栄※ | 讃美歌541「父、御子、御霊の」 | 一　同 |
| 祝　　祷※ | | 牧　師 |
| 来週の箇所 | **使徒行伝 1:3-5** | |

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

## 旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

**《今週の歩み》**
11/27(日)聖日礼拝
/28(月)
/29(火)
/30(水)10-12:OBSｸﾗｽ 13:30牧師祈会
12/１(木)8:30OBSﾁｬﾍﾟﾙ 10:聖研
/２(金)
/３(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

**《祈りの課題》**
①コロナ禍の終息とリバイバルのために
②礼拝に来れなかった人々の信仰のために
③教会学校に子供たちが集い救われますように

*良書ハイライト*

### 「幼子への成長」
藤井理恵・美和共著「魂のケア」(いのちのことば社)

ホスピスでは死を前にして人が変化をしてゆく場面や、成長していく場面に出会います。何年かホスピスで働いたことのあるナースがそうした様子を見て、「人間ってスゴイ！すばらしい！」と言うのを聞くことがあります。しかし一方、組織の中で働いている友人から、「人間はどこまでいっても罪深い」ということばを聞くこともあります。同じ人間というものを見ながら、正反対の言葉が出てくるのはなぜでしょう。

組織や社会の中で持てる者になろうとする人はそれなりにあがき、必死になっています。持てる者こそ力ある者とされ、失敗は許されない厳しさの中で、常にいかに自分が人よりすぐれた者になるかということにばかり目が向けられています。

一方、死を前にする人々は、様々なものを失っていきます。今までこれこそ価値あるものだと思っていたものを失っていき、次々と自分を覆っていたものがはがされていくのです（はがされる、脱がされるというのはよく患者さんから聞く言葉です）。このような時、人は自分が今まで持っていたものの価値について考えざるを得なくなります。持たない者としての自分を見つめ、生きることを考えさせられることになります。

「唯一人間だけが、動物の中で死を前にして成長する」という言葉をよく耳にしますが … 多くの病む人と出会って思うことは、成長というのは何か立派な人間になることではなく、神様が私たち人間を造ってくださり、「よし」としてくださった、その元の形に戻っていくこと、何も持たない本来の姿に戻っていくことの意味での成長なのではないかと思わされています。